

豪州・東ティモール共同開発海域における海上鉱区の取得について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、このたび、豪州・東ティモール共同開発海域において、豪州の石油開発会社であるOilex Ltd社が保有する石油・天然ガス探鉱鉱区「JPDA 06-103」の権益25%のうち15%を譲り受け、共同探鉱事業に参画することとしました。
2. 鉱区および権益取得の概要は次のとおりです。
 - (1) 対象鉱区: 豪州北部準州と東ティモールの間の「共同開発海域」
 - (2) 鉱区名: JPDA 06-103
 - (3) 鉱区面積: 約3,741km²
 - (4) 譲渡者: Oilex (JPDA 06-103) Ltd. (Oilex Ltdの100%子会社)
 - (5) 取得権益: 15%
 - (6) 権益比率:
 - JAPAN ENERGY E & P JPDA PTY LTD(注)・・・15%
 - Oilex (JPDA 06-103) Ltd.・・・10%
 - Global Energy Inc.・・・25%
 - Bharat PetroResources JPDA Limited・・・25%
 - GSPC (JPDA) Limited・・・25%(注) 当社の100%子会社。
 - (7) オペレーター: Oilex (JPDA 06-103) Ltd.
 - (8) 契約方式: 生産物分与 (Production Sharing) 契約
 - (9) 探鉱期間: 2009年8月～2011年1月(当社の本事業参画日から第1期探鉱期間の終了日まで)
 - (10) 予定作業: 試掘4坑ほか
3. 当社は、オセアニア地域や東南アジアなどを上流部門における重点地域と位置付け、同地域での鉱区取得を目指しており、本施策もその一環です。JPDA06-103鉱区は、周辺に油田が存在する有望な鉱区であることから、当社としては新たな油田の発見を期待しています。

● 【添付資料】

 [豪州・東ティモール共同開発海域に位置する「JPDA 06-103」鉱区位置 \(PDF:240KB\)](#)

以上